

令和 5 年度 特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会

事業報告

1. 事業総括

令和 5 年度は、ACMA ビジョン『秋田県民と介護支援専門員の未来創造』～R4 年度行動の年から構造改革の R5 年度への挑戦～のもと、以下の 3 つの事業方針を掲げ、地区協会の運営負担軽減も含めた組織運営の効率化と生産性を向上させ、職能団体としての構造改革と運営体制を進化させる為、職能団体としての各活動に取り組みました。

1. 県協会と地区協会の運営体制の効率化と生産性の向上
2. 秋田県への地域貢献と新規事業への挑戦
3. 地域課題の発見と政策提言と情報発信

まずは特に協会の事務局体制について、新たに職員 1 名を採用し事務局 4 名体制とすることでの運営体制の強化を図り、秋田県からの受託事業について確実に遂行することができました。一方で、会員管理・地区協会の事務負担の軽減・県内のネットワーク網の整備という点では、実行しきれなかった部分もあり、令和 6 年度の重点事項としていきます。

次に、新規事業として秋田県より受託した、介護支援専門員証登録管理業務についても長寿社会課様と連携を図りながら、資格管理という重要な責務を遂行することができました。また、介護支援専門員の法定研修（専門研修Ⅰ・Ⅱ、更新研修、主任 CM 研修、主任 CM 更新研修）については、研修受講体制の DX 化を推進し、受講者の時間的負担の軽減、PC 環境の強化を図りながら、受講環境を改善することができました。

そして、協会ホームページについても全面リニューアルし、サイトでの情報発信や研修受講申込・資格登録申請ページへのアクセス等を改善することで利便性を向上させることができました。

協会事務局独立 3 年が経過し、運営体制の進化という成長期において、やるべきことは多く残されています。協会の現状課題を一つずつ解決しながら協会機能のブラッシュアップという点においては、一定の成果が見えてきています。

これも、すべては秋田県長寿社会課及び地域・家庭福祉課様からの手厚いご支援をはじめ、理事及び会員の皆様の献身的な活動への協力をいただいたおかげです。ご支援ご協力をいただきました全ての方々に感謝を申し上げます。

令和 6 年度も変革の時流となりそうですが、どんな時代になろうとも、これまで積み重ねたことを更に進化させ、当協会の発展・永続化と秋田県民の幸せと介護支援専門員の未来創造の為に行動して参ります。

2. 特定非営利活動に係る事業

I 令和5年度秋田県介護支援専門員資質向上事業

<令和5年度秋田県介護支援専門員再研修>

1. 目 的

介護支援専門員として実務についていない者又は実務から離れている者が実務に就く際に、介護支援専門員としての必要な知識、技能の再修得を図ることを目的として実施した。

2. 実施主体

秋田県

3. 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

4. 受講対象者

介護支援専門員として都道府県の登録を受けた者で、介護支援専門員証の有効期間がすでに切れている者。（再研修開催期間中に有効期間満了日を迎える者を含む。）

5. 研修期間、回数、期日等

期 間	期 日	研修方法
10 日間	令和5年7月31日（月）～ 8月4日（金） 8月28日（月）～9月1日（金）	オンライン研修 集合研修（秋田県社会福祉会館）

6. 研修内容

10日間（計54時間）の研修を実施した。

〔主な内容〕

- ①介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント
- ②ケアマネジメントに係る法令等の理解
- ③自立支援のためのケアマネジメントの基本
- ④介護支援専門員に求められるケアマネジメント
- ⑤地域包括ケアシステム及び社会資源
- ⑥人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理
- ⑦ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義
- ⑧ケアマネジメントの展開

（脳血管疾患に関する事例、認知症に関する事例、筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する

事例、内臓の機能不全に関する事例、看取りに関する事例)
⑨アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習

7. 講 師 表 3

8. 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 77 名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。

<令和 5 年度秋田県介護支援専門員更新研修>

1. 目 的

介護支援専門員証に有効期限が付され、更新時に研修の受講を課すことにより、定期的な研修受講の機会を確保し、介護支援専門員として必要な知識及び技術の向上を図り、専門職としての能力の保持・向上を図ることを目的として実施した。

2. 実施主体

秋田県

3. 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

4. 研修名

(1)介護支援専門更新研修〈実務経験者（初回更新対象者）〉

◎受講対象者

介護支援専門員証の交付を受けてから、その有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事している方又は従事していた経験を有する者で、介護支援専門員証の有効期間がおおむね 1 年以内に満了する者。

◎研修期間、回数、期日等

(更新研修前期) (合計 8 日間)		
期 日		開催方法
1 組	令和 5 年 6 月 6 日 (火) ～6 月 6 日 (金)、 6 月 20 日 (火) ～6 月 23 日 (金)	オンライン研修 集合研修 (秋田県社会福祉会館)
2 組	令和 5 年 6 月 13 日 (火) ～6 月 16 日 (金)、 7 月 4 日 (火) ～7 月 7 日 (金)	

(更新研修後期) (合計 4 日間)		
期 日		開催方法
1 組	令和 5 年 7 月 25 日 (火) ～7 月 28 日 (金)	オンライン研修 集合研修 (秋田県社会福祉会館)
2 組	令和 5 年 8 月 22 日 (火) ～8 月 25 日 (金)	
3 組	令和 5 年 9 月 12 日 (火) ～9 月 15 日 (金)	

◎研修内容

12 日間 (計 88 時間) の研修を実施した。

〈前期 8 日間 (計 56 時間)、後期 4 日間 (計 32 時間)〉

〔主な内容〕

前期

- ① ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定
- ② 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状
- ③ 対人個別援助技術及び地域援助技術
- ④ ケアマネジメントの実践における倫理
- ⑤ ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践
- ⑥ ケアマネジメントの演習
 - ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例
 - ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
 - ・認知症に関する事例
 - ・入退院時等における医療との連携に関する事例
 - ・家族への支援の視点が必要な事例
 - ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例
 - ・状態に応じた多様なサービス (地域密着型サービス、施設サービス等) の活用に関する事例
- ⑦ 個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習
- ⑧ 研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワークづくり

後期

- ① 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開
- ② ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表
 - ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例
 - ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
 - ・認知症に関する事例
 - ・入退院時等における医療との連携に関する事例
 - ・家族への支援の視点が必要な事例
 - ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例
 - ・状態に応じた多様なサービス (地域密着型サービス、施設サービス等) の活用に関する事例

◎講師

前期 表1 後期 表2

◎修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 30 名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。
(後期 1 組 16 名、後期 2 組 9 名、後期 3 組 5 名 うち 6 名前期免除者)

(2)介護支援専門更新研修〈実務経験者（2 回目以降更新対象者）〉

◎受講対象者

介護支援専門員の資格取得後、専門研修課程Ⅰ・Ⅱ又は実務経験者の更新研修を修了し、初回の介護支援専門員証の更新をした者で、その後、最新の有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事している者又は従事していた経験を有する者で、介護支援専門員証の有効期間がおおむね1年以内に満了する者。

◎研修期間、回数、期日等

期間 4 日間		
期日		研修方法
1 組	令和 5 年 7 月 25 日 (火) ～7 月 28 日 (金)	オンライン研修 集合研修 (秋田県社会福祉会館)
2 組	令和 5 年 8 月 22 日 (火) ～8 月 25 日 (金)	
3 組	令和 5 年 9 月 12 日 (火) ～9 月 15 日 (金)	

◎研修内容

4 日間（計 32 時間）の研修を実施した。

① 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開

② ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表

- ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例
- ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
- ・認知症に関する事例
- ・入退院時等における医療との連携に関する事例
- ・家族への支援の視点が必要な事例
- ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例
- ・状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例

◎講師 表2

◎修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 149 名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。
(1 組 56 名、2 組 51 名、3 組 42 名)

(3) 介護支援専門更新研修（実務未経験者）

◎受講対象者

介護支援専門員証の交付を受けてから、その有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事している者又は従事していた経験を有する者で、介護支援専門員証の有効期間がおおむね 1 年以内に満了する者。

◎研修期間、回数、期日等

期 間	期 日	研修方法
10 日間	令和 5 年 7 月 31 日 (月) ～8 月 4 日 (金) 8 月 28 日 (月) ～9 月 1 日 (金)	オンライン研修 集合研修（秋田県社会福祉会館）

◎研修内容

10 日間（計 54 時間）の研修を実施した。

〔主な内容〕

- ①介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント
- ②ケアマネジメントに係る法令等の理解
- ③自立支援のためのケアマネジメントの基本
- ④介護支援専門員に求められるケアマネジメント
- ⑤地域包括ケアシステム及び社会資源
- ⑥人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理
- ⑦ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義
- ⑧ケアマネジメントの展開

（脳血管疾患に関する事例、認知症に関する事例、筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例、内臓の機能不全に関する事例、看取りに関する事例）

- ⑨アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習

◎講 師 表 3

◎修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 66 名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。

＜令和5年度秋田県介護支援専門員専門研修＞

1. 目 的

現任の介護支援専門員に対して、一定の実務経験を踏まえた専門知識、技能の修得を図るとともに、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを実践できる知識・技術を修得することにより、介護支援専門員の資質向上を図ることを目的として実施した。

2. 主 催

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

3. 研修課程毎の内容

(1) 介護支援専門員研修課程Ⅰ

◎受講対象者

原則として、介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後6か月以上の者。

◎研修期間、回数、期日等

専門研修課程Ⅰ（合計8日間）		
期 日		開催方法
1組	令和5年 6月6日（火）～6月9日（金）、 6月20日（火）～6月23日（金）	オンライン研修 集合研修 （秋田県社会福祉会館）
2組	令和5年 6月13日（火）～6月16日（金）、 7月4日（火）～7月7日（金）	

◎研修内容

8日間（計56時間）の研修を実施した。

〈前期8日間（計56時間）、後期4日間（計32時間）〉

〔主な内容〕

- ①ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定
- ②介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状
- ③対人個別援助技術及び地域援助技術
- ④ケアマネジメントの実践における倫理
- ⑤ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践
- ⑥ケアマネジメントの演習
 - ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例
 - ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
 - ・認知症に関する事例

- ・入退院時等における医療との連携に関する事例
- ・家族への支援の視点が必要な事例
- ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例
- ・状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例

⑦個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習

⑧研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワークづくり

◎講師 表 1

◎修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 53 名に対し、修了証明書を交付した。

（1 組 31 名、2 組 22 名）

(2) 介護支援専門員専門研修専門研修課程Ⅱ

◎受講対象者

原則として、介護支援専門員としての実務に従事している者であって、専門研修課程Ⅰを修了している就業後 3 年以上の者。

◎研修期間、回数、期日等

専門研修課程Ⅱ（合計 4 日間）		
期	日	開催方法
1 組	令和 5 年 7 月 25 日（火）～7 月 28 日（金）	オンライン研修 集合研修 （秋田県社会福祉会館）
2 組	令和 5 年 8 月 22 日（火）～8 月 25 日（金）	
3 組	令和 5 年 9 月 12 日（火）～9 月 15 日（金）	

◎研修内容

①介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開

②ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表

- ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例
- ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
- ・認知症に関する事例
- ・入退院時等における医療との連携に関する事例
- ・家族への支援の視点が必要な事例
- ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例
- ・状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例

◎講師 表 2

◎修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 172 名に対し、修了証明書を交付した。
(1 組 64 名、2 組 52 名、3 組 56 名)

<令和 5 年度秋田県主任介護支援専門員研修>

1. 目 的

介護保険サービスや他の保健・医療・福祉サービスを提供する者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を修得するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりを実践できる主任介護支援専門員の養成を図ることを目的として実施した。

2. 実施主体

秋田県

3. 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

4. 受講対象者

介護支援専門員の業務に関し十分な知識と経験を有し、主任介護支援専門員に求められる役割を自覚し、今後その業務に携わる者として適格であるとし、実施要綱に定められた 3 要件を満たすとして所属長の推薦を受けた者。

5. 研修期間、期日等

期間	11 日間
期日	研修方法
令和 5 年 10 月 11 日 (水) ～10 月 13 日 (金) 10 月 24 日 (火) ～10 月 27 日 (金) 11 月 3 日 (金) 11 月 7 日 (火) ～11 月 9 日 (木)	オンライン研修 集合研修 (秋田県社会福祉会館)

6. 研修内容

11 日間 (計 70 時間) の研修を実施した。

〔主な内容〕

- ① 主任介護支援専門員の役割と視点
- ② 人材育成及び業務管理
- ③ 運営管理におけるリスクマネジメント
- ④ ターミナルケア
- ⑤ ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援
- ⑥ 地域援助技術
- ⑦ 対人援助者監督指導
- ⑧ ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践
- ⑨ ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践
- ⑩ 個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開

7. 講師 表 4

8. 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 74 名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。

<令和 5 年度秋田県主任介護支援専門員更新研修>

1. 目 的

主任介護支援専門員に対して更新研修の受講を課すことにより、継続的な資質向上を図るための定期的な研修受講の機会を確保し、主任介護支援専門員の役割を果たしていくために必要な能力の保持・向上を図ることを目的として実施した。

2. 実施主体

秋田県

3. 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

4. 受講対象者

介護支援専門員証の有効期間内であり、実施要綱に定められた要件のいずれかに該当するものであって、主任介護支援専門員研修修了証明書の有効期間がおおむね 2 年以内に満了する者。

5. 研修期間、期日等

期間	8 日間	
期日	研修方法	
令和5年 9月5日(火)～9月8日(金)	オンライン研修 集合研修(秋田県社会福祉会館)	
9月26日(火)～9月29日(金)		

6. 研修内容

8日間(計46時間)の研修を実施した。

[主な内容]

- ① 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向
- ② 主任介護支援専門員としての実践の振り返り及び支援の実践
 - ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例
 - ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
 - ・認知症に関する事例
 - ・入退院時等における医療との連携に関する事例
 - ・家族への支援の視点が必要な事例
 - ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例
 - ・状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例

7. 講師 表5

8. 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者222名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。

Ⅱ 令和5年度主任介護支援専門員の指導力向上 OJT 研修事業

＜ケアプラン個別点検アドバイザー養成研修＞

1. 目 的

本研修は、①介護給付の適正化を図り、利用者に対する適切な介護サービスを確保し、不適切な給付が削減されることにより、介護保険制度の信頼感を高めるとともに、介護給付費の増大や介護保険料の上昇を抑制することに通じ、持続可能な介護保険制度の構築に資すること、②ケアプラン点検を適正に行えるアドバイザーとなる主任介護支援専門員の育成及び指導力の向上を図ること、③潜在している真の課題を抽出するために多職種の専門職による知識の相乗と各専門職の分野からの着眼点を咀嚼して、多職種の専門職による知識の相乗効果（チームケア）を駆使することを目的として課題整理総括表・評価表を活用した自立支援型ケアマネジメントから自立支援型地域ケア会議についての展開の実際を学ぶことを目的として実施した。

2. 実施主体

秋田県

3. 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

4. 受講対象者

主任介護支援専門員

5. 研修期日、内容、講師等

期 日	時 間	研 修 内 容	開催方法
令和5年 10月17日(火) 第1日目	第1部 10:00～12:00	ケアマネジメントの標準化について 「ケアプラン点検のポイント」 講師：青森県介護支援専門員協会 会長 木村隆次 氏	オンライ ン(ZOOM)
	第2部 13:00～16:00	「課題整理総括表・評価表の記入 方法と活用」 講師：青森県介護支援専門員協会 会長 木村隆次 氏	
令和5年 10月23日(月) 第2日目	第1部 10:00～10:20 10:20～11:20 11:20～11:30 11:30～12:00	自立支援型ケアマネジメントに ついて 自己紹介・事例発表 休憩	オンライ ン(ZOOM)

	第2部 13:00～13:30 13:30～14:10 14:10～14:20 14:20～14:40 14:40～15:00	ケースの選定 事例の読み込みと会議の準備 模擬の会議開催 休憩 感想及び発表準備 発表による共有	
--	--	---	--

6. 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 23 名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

<令和5年度地域同行型研修>

1. 目 的

本研修は、地域における人材育成の観点から、実務経験の浅い介護支援専門員等に対し、主任介護支援専門員等による実習型研修を実施することにより、介護支援専門員の実務能力の向上及び主任介護支援専門員の指導力の向上を図ることを目的として実施した。

2. 実施主体

秋田県

3. 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

4. 受講対象者

県内の居宅介護支援事業所に勤務し、本研修に受講するに相応しい介護支援専門員

5. 研修期日、内容、講師等

期 日	時 間	研 修 内 容	開催方法
令和5年 8月17日(木) 全体研修	第1部 10:30～12:00	主任介護支援専門員研修(講義) *アドバイザーのみ受講 *アセスメントに同行する専門職(理学療法士・薬剤師等)	オンライン(ZOOM)
	第2部 13:00～14:30	地域同行型研修について(講義) 配布資料・提出書類について ワークシート等、記入方法について	

	14:30～16:00	アセスメント確認(提出ケースについて) 読み込みや目標設定 同行研修日程打合せ	
令和5年 8月18日(金) ～令和5年 9月22日(金) 同行型研修	パワーポイント 作成は9月29日 (金)まで	個別面談 ・ペアとなったアドバイザーと介護支援専門員で最終調整 個別実習 ・サービス担当者会議及びモニタリングにペアになったアドバイザーが同行＊状況に応じてオンラインや動画活用も可能	同行訪問
令和5年 10月5日(木) 全体研修	13:00～13:10 13:10～15:10 15:20～15:50 15:50～16:00	オリエンテーション プレゼンテーション 受講者が所属する居宅介護支援事業者の管理者も聴講してもらう 振り返り・アドバイザー講評 閉会の挨拶	オンライン(ZOOM)

講師：青森県介護支援専門員協会 会長 木村 隆次 氏

6. 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者7名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

Ⅲ 令和5年度介護支援専門員等に対する実践力向上研修事業

<事業所管理者向け研修>

1. 目的

管理者として必要な専門的知識・技術をさらに磨き、そして本研修を事業所に持ち帰り、実践することにより、事業所職員のスキルアップと事業所としての安定経営を図ることを目的として実施した。

2. 実施主体

秋田県

3. 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

4. 受講対象者

- ・事業所管理者
- ・労務管理や人材育成等のスキル取得を目指す介護支援専門員
- ・起業を考える者、管理者業務に興味のある者

5. 研修期日、内容、講師等

日時：令和5年11月2日（木）午前10時から午後4時

時間	第1部：10：00～12：00	第2部：13：00～16：00
テーマ (主題)	チームビルディングと 適正な業務評価の推進	事業所経営の安定と質の向上
次第	1. 管理者の責務とチームの定義【講義】 2. 専門職の能力開発と業務評価の視点【演習と発表】	3. 運営基準減算の徹底回避【講義と演習】 4. 令和5年介護保険法改正の概要と令和6年介護報酬改定の進捗状況【講義】 5. 意見・情報交換、質疑応答

講師：一般社団法人あたと研究所 代表理事 後藤 佳苗 氏

6. 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者87名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

<初任者フォローアップ研修>

1. 目的

初任段階の介護支援専門員はOJTの機会が無いまま現任となるため、本研修を実施し、ギャップや悩みを解消しモチベーションの維持を図り、また、介護支援専門員同士のつながりを作ることを目的として実施した。

2. 実施主体

秋田県

3. 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

4. 受講対象者

初任段階の介護支援専門員（実務経験 5 年未満の者）

5. 研修期日、内容、講師等

日時：令和 6 年 1 月 27 日（土）午前 10 時から午後 4 時

内容：初任者を対象とした、介護支援専門員の専門性と役割についての講義と演習

講師：特定非営利活動法人ふくし@JMI 理事長 小湊 純一 氏

6. 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 28 名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

<復職者向け研修>

1. 目 的

介護支援専門員の資格を取得した後に、育児や介護等で実務を離れた方などは復職に対し不安を抱えており、そうした問題を解決する場が必要となる。

スムーズな復職を支援することを目的とするとともに、介護支援専門員として実務についていない方又は実務から離れている方等が実務に就く際に、介護支援専門員として必要な知識及び技能を再修得する事を目的として実施した。

2. 実施主体

秋田県

3. 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

4. 受講対象者

- ・復職を希望する介護支援専門員
- ・介護支援専門員として業務に復帰した、あるいは復帰する予定の者。
- ・介護支援専門員としての実務に従事した事がない者。
- ・介護支援専門員として必要な知識及び技能の再修得を希望する者。

5. 研修期日、内容、講師等

日時：令和 6 年 2 月 3 日（土）午前 10 時から午後 4 時

内容：復職者を対象とした、介護支援専門員の専門性と役割についての講義と演習

講師：特定非営利活動法人ふくし@JMI 理事長 小湊 純一 氏

6. 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 6 名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

Ⅳ自主事業

<介護予防従事者研修>

1. 目 的

介護予防支援の業務に従事する介護支援専門員等が、介護予防支援計画書を作成できるよう必要な知識の習得及び技能の向上を図り、適切な介護予防支援の提供を確保することを目的として開催した。

2. 主 催

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

3. 参加対象

介護予防支援事業所において介護予防支援業務に従事する者および指定居宅介護支援事業所の介護支援専門員

4. 研修期日 令和 5 年 12 月 13 日（水）9：30～13：00

5. 内容・講師等

時 間	内 容	講師等
9：30	開会	秋田県地域包括・在宅介護支援センター 協議会 八峰町地域包括支援センター 主任介護支援専門員 原田正胤 氏
9：35	主催者挨拶	
9：40～11：10	講義「地域包括ケアシステムで求められる介護支援専門員とは」	
11：10～11：20	休憩	大仙市高齢者包括支援センター 参事 渡部千浩 氏
11：20～12：50	講義「介護予防・支援サービス計画書の記載について」	
12：50～13：00	質疑応答・事務連絡	
13：00	閉会	

6. 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 65 名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

<ICT を活用した生産性向上スキル習得講座>

1. 目 的

県内の法人や事業所における ICT の導入事例や活用事例を紹介し、ICT を効果的かつ効率的に導入し活用するための方法を学び、この学びを通じて、ケアマネジメント業務における生産性の向上を図り、介護支援専門員がより質の高いケアマネジメントを提供できるようにすることを目的として開催した。

2. 主 催 特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

3. 参加対象

I C T を活用したケアマネジメントスキルの向上を目指す介護支援専門員

4. 研修期日 令和 6 年 2 月 28 日（水）13：30～16：30

5. 内容・講師等

時 間	内 容	講師等
13：30	開会 主催者挨拶	
13：35～13：50		
13：50～14：30	第 1 部 『タブレット及び法人内連携ツールの活用における DX』～ICT を活用した利用者支援、業務改善～ (休憩)	なごみ居宅介護支援セ ンター 管理者 矢野 仁志 氏
14：40～15：45	第 2 部「背伸びしすぎていた I C T 活用」	八峰町地域包括支援セ ンター 管理者 原田 正胤 氏
15：45～16：30	振り返りセッション	
16：30	閉会	

6. 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 60 名のうち、希望者 36 名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

V 令和5年度秋田県ケアラー支援・普及啓発事業

1. 令和5年度 秋田県ケアラー支援・普及啓発事業普及啓発セミナー

(1) 目的

県民一人ひとりがケアラーに対する理解を深め、社会全体でケアラーを支える地域づくりのため、全県に発信する普及啓発セミナーを開催した。

(2) 主催

秋田県

(3) 実施機関

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

(4) 受講対象者

- ①相談支援従事者・行政職員・学校・教育関係者・関係団体等
- ②本テーマにご興味をお持ちのすべての方

(5) 研修期日、内容、講師等

- ①日時：令和5年12月23日（土） 13時30分～16時00分
- ②テーマ：ヤングケアラーについて理解を深めるセミナー
- ③内容
 - 第1部 現状報告（30分） 13：45～14：15
 - 秋田県の現状と取り組み
 - 秋田県介護支援専門員協会の取り組み
 - 第2部 基調講演（75分） 14：15～15：30
 - 講師：NPO法人あなたのいばしょ
 - 理事長 大空 幸星 氏
 - 第3部 振り返りセッション（20分） 15：30～15：50
 - 『気づきと学びを共有しよう』

(6) 修了証明書の交付等

参加者80名のうち、希望者16名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

2. 令和5年度 秋田県ケアラー支援・普及啓発事業相談援助従事者研修会

(1) 目的

ヤングケアラーの心理や直面する困難、ニーズを踏まえたより添った支援ができるよう、共感的な理解に基づいた知識と援助方法を習得するとともに、当事者が相談しやすい環境づくりを進めていく。

(2) 主催

秋田県

(3) 実施機関

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

(4) 受講対象者

- ① 相談支援従事者・関係団体・行政職員
- ② 興味・関心を持つ秋田県民

(5) 研修期日、内容、講師等

- ① 日時：令和6年2月20日（火） 13時30分～16時30分
- ② テーマ：子どもたちに対する支援者としてのあり方を理解する
- ③ 内容・講師
基調講演（75分） 13：35～14：50
『子どもたちに対する支援者としてのあり方を理解する』
講師：一般社団法人 ケアラーアクションネットワーク協会
代表理事 持田 恭子 氏
演習（75分） 15：00～16：15
『ケアを自分事として考えるグループワーク』
情報提供（10分） 16：15～16：25
秋田県地域・家庭福祉課
特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会

(6) 修了証明書の交付等

参加者 56 名のうち、希望者 31 名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

3. オンラインつどいの場の開設・運営

オンライン上で集いの場を開催することにより、ケアラーの参加・交流ができる居場所づくりを行うとともに、ケアラーに対する支援の入り口や日常の悩みを吐露でき、安心できる居場

所とすることで、孤立予防や課題の早期解決を支援することを目的とし、ケアラーオンラインつどいの場を開催した。

第9回	4月27日(木)	参加者1名
第10回	5月25日(木)	参加者2名
第11回	6月22日(木)	参加者2名
第12回	7月27日(木)	参加者3名
第13回	8月24日(木)	参加者1名
第14回	9月28日(木)	参加者0名
第15回	10月26日(水)	参加者1名
第16回	11月22日(木)	参加者1名
第17回	12月28日(木)	参加者3名
第18回	1月25日(木)	参加者2名
第19回	2月22日(木)	参加者2名
第20回	3月28日(木)	参加者3名

4. 普及啓発資料の制作・印刷

普及啓発用ポスター1000枚及び、ケアラーサポート LINE 秋田 PR 用カード 6000枚の制作・印刷及び発送を行った。

5. SNS による相談対応

「ケアラーサポート LINE 秋田」により、LINE 相談に対応した。

対応日

月～金（平日）の 10：00～18：00

1回の相談対応時間 60分まで

総相談受付件数 37件

うちケアラー相談として対応した件数 5件

	相談件数	ケアラー相談	相談対応	備 考
4月	2件	1件	1件	1件は、相談時間外のため後日の相談
5月	3件	2件	2件	1件は、同じケアラーのお話を伺いたい。つどいの場を紹介。LINEのみでの連絡を希望。
6月	3件	1件	1件	対象外の2件は、相談先を伝える。
7月	3件	0件	0件	対象外の3件は、相談先を伝える。
8月	5件	0件	1件	対象外の4件は、相談先を伝える。
9月	10件	1件	1件	対象外の9件は、詳細を伺う前に相談終了しています。
10月	5件	0件	0件	対象外の5件は、詳細を伺う前に相談終了しています。
11月	0件	0件	0件	システム不具合
12月	1件	0件	0件	対象外の1件は、詳細を伺う前に相談終了しています。
1月	1件	0件	0件	対象外の1件は、詳細を伺う前に相談終了しています。
2月	2件	0件	1件	対象外の1件は、相談先を伝える。
3月	2件	0件	1件	1件は、詳細を伺う前に相談終了しています。
計	37件	5件	8件	

VI 認定調査員研修等事業

1. 認定調査員新任者研修

第1回 4月18日開催 52名受講

第2回 10月5日開催 32名受講

講師 秋田県長寿社会課職員、秋田県介護支援専門員協会事務局長

2. 認定調査員現任者研修

7月20日開催 16名受講

講師 企業組合ほっと代表理事 松本 慶一 氏

3. 認定審査会委員及び主治医研修

12月16日開催 審査会委員166名受講 主治医15名受講

講師 秋田県医師会理事、小野崎医院院長 小野崎 圭助 氏

けあデザインラボ代表 綿貫 哲 氏

VII 介護支援専門員資格管理業務

申請件数及び介護支援専門員証の状況

令和5年5月1日～令和6年3月31日

申請種別	申請件数	交付件数	備 考
更新	598	591	
登録	3		
登録・交付	47	37	
交付	68	68	
再交付	2	2	
書換	5	5	
転入	1		
転入・交付	4	4	
変更	74		
消除	1		
計	729	707	

※4月1日に秋田県より受託したが、本会での業務は5月1日より開始した。

VIII 日本介護支援専門員協会支部事業

① 社員総会

期 日：令和5年6月25日(日)

場 所：鉄鋼会館

出席者：小原会長、長澤副会長、佐藤副会長

② 支部長会議

【第1回】

期 日：令和5年10月20日(金)

場 所：ライトキューブ宇都宮

出席者：小原会長、長澤副会長

【第2回】

期 日：令和6年2月9日(金)

場 所：オンライン

出席者：長澤副会長

③ 理事会

【第1回】

期 日：令和5年6月25日(日)

場 所：鉄鋼会館

出席者：長澤副会長

【第2回】

期 日：令和5年9月22日(金)

場 所：オンライン

出席者：長澤副会長

【第3回】

期 日：令和6年1月26日(金)

場 所：オンライン

出席者：長澤副会長

【第4回】

期 日：令和6年3月8日(金)

場 所：TKP 神田ビジネスセンター

出席者：長澤副会長

④介護報酬改定説明会（リアル配信）

期 日：令和6年3月23日（土）

サテライト会場：秋田県北部老人福祉総合エリア
秋田県社会福祉会館
横手市浅舞地区交流センター

⑤日本介護支援専門員協会調査協力、活動協力

- ・東北ブロック選出理事
- ・介護支援専門員法定研修テキスト執筆
- ・情報収集システム協力者（モニター）に関する協力
- ・介護離職防止支援への介護支援専門員の関与（ワークサポートケアマネジャー）についての特別委員会の委員派遣
- ・令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査協力
- ・介護支援専門員生涯学習体系の運用に関する特別委員会ワーキンググループ委員派遣
- ・社員総会副議長
- ・介護保険制度・報酬委員会の委員派遣
- ・居宅介護支援事業所部会の委員派遣

Ⅸ 地区協会支援事業

地区協会助成金交付 各地区正会員一人あたり 500 円の助成

3. 組織管理

(1) 会議開催

①通常総会及び第1回研修会（オンライン開催）

期 日：令和5年5月26日（金）

内 容：議案1号 令和4年度事業報告および収支決算について

議案2号 令和5年度事業計画(案)および収支予算(案)について

研修テーマ：「これから介護支援専門員が考えていくこと～職能団体の活動を通して～」

講師：特定非営利活動法人山口県介護支援専門員協会会長

防府東地域包括支援センター長 佐々木 啓太 氏

② 理事会（オンライン開催）

【第1回】

期 日：令和5年4月1日（土）

内 容：議案第1号 会長の選任の件

議案第2号 副会長の選任の件

【第2回】

期 日：令和5年5月12日(金)

内 容：議案3号 令和4年度事業報告および収支決算報告の件
議案4号 令和5年度事業計画(案)および収支予算(案)の件
協議事項 ①令和5年度通常総会及び第1回研修会について
②理事及び部会の構成と役割分担
③男鹿市ケアプラン点検の依頼について

【第3回】

期 日：令和5年11月15日(水)

内 容：議案第5号 令和5年度事業の進捗状況について
議案第6号 介護支援専門員法定研修新カリキュラムへの対応について
議案第7号 東北ブロック研修会について
議案第8号 諸規定の整備について

【第4回】

期 日：令和6年3月27日(水)

内 容：議案第9号 秋田県介護支援専門員協会令和5年度の事業について
議案第10号 秋田県介護支援専門員協会令和6年度の事業について
議案第11号 介護支援専門員法定研修新カリキュラムへの対応について
議案第12号 諸規定の整備について

⑤監事会

期 日：令和5年5月12日(金)

場 所：秋田県介護支援専門員協会事務局

内 容：令和4年度事業報告並びに決算監査について

⑥東北ブロック会議

【第1回ブロック会議】

期 日：令和5年10月15日(日) (オンライン開催)

内 容：協議

- ・介護保険制度改正に向けた取り組みならびに令和3年度介護保険制度改正の影響について
- ・各支部の活動について
- ・日本介護支援専門員協会への提案、要望について
- ・ブロック研修会の企画について
- ・令和5年度東北ブロック会議について

【第2回ブロック会議】

期 日：令和6年2月23日(金) (オンライン開催)

内 容：協議

- ・各支部の活動について

- ・介護保険制度改正・介護報酬改定に向けた取り組みについて
- ・日本介護支援専門員協会への提案、要望について
- ・次回ブロック研修会の企画について
- ・次回東北ブロック会議について

【東北ブロック研修会】

期 日：令和6年2月23日（金）13：00～15：10 （オンライン開催）

内 容：「介護支援専門員の役割と適切なケアマネジメント手法・課題分析標準項目について」

講 師：株式会社日本総合研究所 創発戦略センター
エグゼクティブマネジャー 齊木 大 氏

⑦部会

（イ）研修部会

- ・秋田県委託の介護支援専門員法定研及び法定外研修、ケアラー支援・普及啓発セミナー及び相談援助従事者研修、本会自主研修の他、東北ブロック研修会及び、サテライト3会場による介護報酬改定説明会（日本介護支援専門員協会研修をリアル配信）を実施した。

（ロ）調査研究部会

- ・調査テーマや内容について考え、何のために調査・研究を行うのか、何に繋げていくのかを検討した。今年度は、主体となる調査活動は行わなかったが、介護保険以外の医療や福祉等の領域のほか、ケアラー支援等も含め、改正された制度や新たな政策、社会資源等についても視野を広げ、その動向を定期的に把握した。

（ハ）広報部会

- ・12月1日よりホームページのリニューアルを行い、3月31日付けで広報第22号を発行した。
- ・Facebookを通じて、会員及び県民向けに、幅広く情報提供を行った。

（ニ）相談部会

- ・県内で働く介護支援専門員に対する相談窓口としてどのような活動が望ましいか考え活動を行った。今後は、ICTを活用した相談窓口などを検討したい。

（ホ）災害対策プロジェクト委員会

- ・令和5年7月に秋田県で大雨による被害があり、各地区の会員とLINE WORKSにて連絡を取り合い被害状況や対応状況など情報を共有し、日本介護支援専門員協会へ状況報告を行った。

(2) 会員増強

令和5年度の会員確定数は、正会員 776 名、賛助団体 3 団体、賛助会員 1 名であり、新規会員は 37 名であった。正会員の前年度比は、46 名の減であった。

県南地区	継続会員	297 名
	新規会員	11 名
	合 計	308 名(前年度比 -16 名)

中央地区	継続会員	269 名
	新規会員	21 名
	合 計	290 名(前年度比 - 11 名)

県北地区	継続会員	170 名
	新規会員	5 名
	合 計	175 名(前年度比 - 22 名)

(3) 関係機関・団体との会議、研修会等への参加協力・講師依頼、委員派遣等

- ・介護ロボットの開発・実証・普及のプラットホーム事業における秋田県協議会
- ・秋田市地域包括支援センター主任介護支援専門員等情報交換会講師
- ・大館市福祉まるごと支援ネットワーク代表者会議
- ・秋田スマートカレッジ講師
- ・秋田県福祉保健人材・研修センター運営委員会
- ・秋田県認定調査員新任者研修
- ・秋田県認定調査員現任者研修会
- ・秋田県介護認定審査会委員研修会
- ・秋田県介護保険事業計画策定委員会
- ・秋田県リハビリテーション専門職協議会
- ・秋田介護労働懇談会委員
- ・秋田県地域版介護労働懇談会委員
- ・秋田県高齢者対策協議会委員
- ・秋田県地域福祉推進委員会委員
- ・秋田県循環器病対策推進協議会委員
- ・秋田県医療介護総合確保事業計画策定委員会委員
- ・秋田県介護サービス事業所認証評価制度推進委員会
- ・秋田県高齢者対策協議会高齢者介護部会
- ・患者のための薬局推進協議会
- ・歯科保険医療推進事業連絡調整会議
- ・山形県老人福祉施設協議会主催介護支援専門員専門研修課程講師
- ・秋田県福祉保健研修カリキュラム検討委員会
- ・大館市介護保険事業計画運営委員会委員

- ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修講師
- ・秋田県介護支援専門員研修委員会委員

(4) 事務局体制の整備

事務局 4 名常勤による体制の整備

表1 専門研修課程Ⅰ・介護支援専門員更新研修〈実務経験者（初回更新対象者・前期）〉
(敬称略)

1組		時間	科目	講師
1 目 目	6/6 (火)	6H	ケアマネジメントに おける実践の振り返 り及び課題の設定	けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 サービス付高齢者向け住宅みんなのまち 施設長 川端 洋祐
2 目 目	6/7 (水)	6H	ケアマネジメントに おける実践の振り返 り及び課題の設定	けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 祐子
3 目 目	6/8 (木)	3H	介護保険制度及び地 域包括ケアシステム の現状	泉地域包括支援センターリンデンバウム センター長 金野 大志
		4H	リハビリテーション 及び福祉用具の活用 に関する事例	介護老人保健施設なごみのさと 在宅事業部 課長 永富 慎之 企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一
4 目 目	6/9 (金)	3H	対人援助技術及び地 域援助技術	泉地域包括支援センターリンデンバウム センター長 金野 大志
		4H	看取り等における看 護サービスに関する 事例	秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子
5 目 目	6/20 (火)	2H	ケアマネジメントの 実践における倫理	秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一
		4H	認知症に関する事例	介護老人保健施設西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾 JA 秋田おばこケアプランセンター 係長 伊藤 弘幸

6 日 目	6/21 (水)	4H	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ここから居宅介護支援事業所 管理者 関谷 重昭
		4H	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践	医療法人社団隆仁会秋田往診クリニック 理事長 市原 利晃
7 日 目	6/22 (木)	4H	家族への支援の視点が必要な事例	けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子
		4H	入退院時等における医療との連携に関する事例	秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 特別養護老人ホームすこやか横手 高齢者支援課長 小林 悠希
8 日 目	6/23 (金)	4H	状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例	けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 秋田県介護支援専門員協会 主任介護支援専門員 小笠原 深幸
		2H	個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習	けあデザインラボ 代表 綿貫 哲
		2H	研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワークづくり	秋田県介護支援専門員協会 主任介護支援専門員 小笠原 深幸

2 組		時間	科目	講師
1 目 目	6/13 (火)	6H	ケアマネジメントに おける実践の振り返 り及び課題の設定	特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲
2 目 目	6/14 (水)	6H	ケアマネジメントに おける実践の振り返 り及び課題の設定	特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲
3 目 目	6/15 (木)	3H	介護保険制度及び地 域包括ケアシステム の現状	泉地域包括支援センターリンデンバウム センター長 金野 大志
		4H	リハビリテーション 及び福祉用具の活用 に関する事例	介護老人保健施設なごみのさと 在宅事業部 課長 永富 慎之 企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一
4 目 目	6/16 (金)	3H	対人援助技術及び地 域援助技術	泉地域包括支援センターリンデンバウム センター長 金野 大志
		4H	看取り等における看 護サービスに関する 事例	秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一
5 目 目	7/4 (火)	2H	ケアマネジメントの 実践における倫理	秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一
		4H	認知症に関する事例	介護老人保健施設西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾 JA 秋田おばこケアプランセンター 係長 伊藤 弘幸

6 日 目	7/5 (水)	4H	入退院時等における 医療との連携に関する事例	秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 特別養護老人ホームすこやか横手 高齢者支援課長 小林 悠希
		4H	ケアマネジメントに必要な医療との連携 及び多職種協働の実践	医療法人社団隆仁会秋田往診クリニック 理事長 市原 利晃
7 日 目	7/6 (木)	4H	家族への支援の視点 が必要な事例	けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子
		4H	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ここきら居宅介護支援事業所 管理者 関谷 重昭
8 日 目	7/7 (金)	4H	状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例	けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 秋田県介護支援専門員協会 主任介護支援専門員 小笠原 深幸
		2H	個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習	けあデザインラボ 代表 綿貫 哲
		2H	研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワークづくり	秋田県介護支援専門員協会 主任介護支援専門員 小笠原 深幸

表2 専門研修課程Ⅱ・介護支援専門員更新研修〈実務経験者（初回更新対象者）〉後期研修
及び 介護支援専門員更新研修〈実務経験者（2回目以降更新対象者）〉

(敬称略)

1 組		時間	科目	講師
1 日目	7/25 (火)	4H	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	○介護老人保健施設なごみのさと 在宅事業部 課長 永富 慎之 ・すこやか横手居宅介護支援センター 管理者 塚本 信太郎
		4H	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	○仙北市包括支援センター 主査兼社会福祉士 佐々木 孝臣
2 日目	7/26 (水)	4H	認知症に関する事例	○介護老人保健施設西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾 ・秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子
		4H	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	○秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 ・介護老人保健施設西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾
3 日目	7/27 (木)	4H	入退院時等における医療との連携に関する事例	○弘前大学医学部附属病院総合患者支援センター 認定社会福祉士(医療分野) 袴田 光樹 ・JA 秋田おばこケアプランセンター 係長 伊藤 弘幸
		4H	家族への支援の視点が必要な事例	○弘前大学医学部附属病院総合患者支援センター 認定社会福祉士(医療分野) 袴田 光樹 ・JA 秋田おばこケアプランセンター 係長 伊藤 弘幸
4 日目	7/28 (金)	4H	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	○特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ・けあデザインラボ 代表 綿貫 哲
		4H	状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例	○特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ・けあデザインラボ 代表 綿貫 哲

2 組		時間	科目	講師
1 日 目	8/22 (火)	4H	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	○仙北市包括支援センター 主査兼社会福祉士 佐々木 孝臣
		4H	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	○介護老人保健施設なごみのさと 在宅事業部 課長 永富 慎之 ・すこやか横手居宅介護支援センター 管理者 塚本 信太郎
2 日 目	8/23 (水)	4H	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	○秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 ・介護老人保健施設西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾
		4H	認知症に関する事例	○介護老人保健施設西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾 ・秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子
3 日 目	8/24 (木)	4H	入退院時等における医療との連携に関する事例	○弘前大学医学部附属病院総合患者支援センター 認定社会福祉士(医療分野) 袴田 光樹 ・JA 秋田おばこケアプランセンター 係長 伊藤 弘幸
		4H	家族への支援の視点が必要な事例	○弘前大学医学部附属病院総合患者支援センター 認定社会福祉士(医療分野) 袴田 光樹 ・JA 秋田おばこケアプランセンター 係長 伊藤 弘幸
4 日 目	8/25 (金)	4H	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	○特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ・けあデザインラボ 代表 綿貫 哲
		4H	状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例	○特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ・けあデザインラボ 代表 綿貫 哲

3 組		時間	科目	講師
1 日 目	9/12 (火)	4H	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	○仙北市包括支援センター 主査兼社会福祉士 佐々木 孝臣
		4H	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	○介護老人保健施設なごみのさと 在宅事業部 課長 永富 慎之 ・居宅介護支援事業所あおぞら 主任介護支援専門員 村上 英男
2 日 目	9/13 (水)	4H	入退院時等における医療との連携に関する事例	○弘前大学医学部附属病院総合患者支援センター 認定社会福祉士(医療分野) 袴田 光樹 ・JA 秋田おばこケアプランセンター 係長 伊藤 弘幸
		4H	家族への支援の視点が必要な事例	○弘前大学医学部附属病院総合患者支援センター 認定社会福祉士(医療分野) 袴田 光樹 ・JA 秋田おばこケアプランセンター 係長 伊藤 弘幸
3 日 目	9/14 (木)	4H	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	○秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 ・介護老人保健施設西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾
		4H	認知症に関する事例	○介護老人保健施設西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾 ・秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子
4 日 目	9/15 (金)	4H	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	○特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ・けあデザインラボ 代表 綿貫 哲
		4H	状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例	○特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ・けあデザインラボ 代表 綿貫 哲

表3 介護支援専門員再研修・更新研修（実務未経験者）

（敬称略）

科 目				再研修及び更新研修	
1 日 目	○介護保険制度の理念・現状及び ケアマネジメント	3H 講義	10:00～ 14:00	7/31 (月)	講師 泉地域包括支援センターリンデンバウム センター長 金野 大志
	○ケアマネジメントに係る法令等 の理解	2H 講義	14:00～ 16:00		秋田県介護支援専門員協会 事務局長 長谷川 正美
2 日 目	○自立支援のためのケアマネジメ ントの基本	6H 講義 演習	9:30～ 16:30	8/1 (火)	特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 特別養護老人ホームすこやか大雄 施設長 長山 正弘 (副担当)
3 日 目	○介護支援専門員に求められるマ ネジメント	2H 講義 演習	9:00～ 11:00	8/2 (水)	けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一 (副担当)
	○地域包括ケアシステム及社会資 源	3H 講義	11:00～ 15:00		けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一 (副担当)
	○人格の尊重及び権利擁護並び に介護支援専門員の倫理	2H 講義	15:00～ 17:00		けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一 (副担当)
4 日 目	○ケアマネジメントに必要な医療と の連携及び多職種協働の意義	3H 講義	9:30～ 12:30	8/3 (木)	秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 特別養護老人ホームすこやか大雄 施設長 長山 正弘 (副担当)
	○ケアマネジメントの展開 ・基礎理解	3H 講義 演習	13:30～ 16:30		特別養護老人ホームすこやか大雄 施設長 長山 正弘 秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一 (副担当)
5 日 目	○ケアマネジメントの展開 ・脳血管疾患に関する事例	5H 講義 演習	10:00～ 16:00	8/4 (金)	居宅介護支援事業所おおだてハチ公 所長 佐藤 昌子 すこやか横手居宅介護支援センター 管理者 塚本 信太郎 (副担当)
6 日 目	○ケアマネジメントの展開 ・認知症に関する事例	5H 講義 演習	10:00～ 16:00	8/28 (月)	特別養護老人ホームすこやか横手 高齢者支援課長 小林 悠希 りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子 (副担当)

7 日 目	○ケアマネジメントの展開 ・筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例	5H 講義 演習	10:00～ 16:00	8/29 (火)	講師 居宅介護支援事業所おおだてハチ公 所長 佐藤 菖子 秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一 (副担当)
8 日 目	○ケアマネジメントの展開 ・内臓の機能不全(糖尿病、高血圧、脂質異常、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病等)に関する事例	5H 講義 演習	10:00～ 16:00	8/30 (水)	秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子 (副担当)
9 日 目	○ケアマネジメントの展開 ・看取りに関する事例	5H 講義 演習	10:00～ 16:00	8/31 (木)	特別養護老人ホームすこやか横手 高齢者支援課長 小林 悠希 居宅介護支援事業所あおぞら 主任介護支援専門員 村上 英男 (副担当)
10 日 目	○アセスメント及び居宅サース計画等作成の総合演習	5 H 講義 演習	10:00～ 16:00	9/1 (金)	特別養護老人ホームすこやか大雄 施設長 長山 正弘 JA 秋田おばこケアプランセンター 係長 伊藤 弘幸 (副担当)

表4 主任介護支援専門員研修

(敬称略)

日にち	時 間	研修科目	指導者
1日目 10月11日 (水)	10:00～ 16:00 (5H)	主任介護支援専門員の役割と視点	八峰町地域包括支援センター 主任介護支援専門員 原田 正胤
2日目 10月12日 (木)	9:30～ 12:30 (3H)	ターミナルケア	NPO 法人ホームホスピス秋田 理事長 中村 順子
	13:30～ 15:30 (2H)	ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援	社会福祉法人秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一
3日目 10月13日 (金)	9:30～ 12:30 (2H)	人材育成及び業務管理	社会福祉法人あけぼの会 副理事長 小原 秀和
	13:30～ 16:30 (3H)	運営管理におけるリスクマネジメント	企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一
4日目～6日目 10月24日 (火)～10月26日(木)	9:30～ 16:30 (6H)	対人援助者監督指導	特定非営利活動法人ふくし@JMI 理事長 小湊 純一 ファシリテーター りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 祐子 宮城県 吉村 英晃(4日目) 〃 寺崎 弘子 〃 〃 木村 佳美(5日目) 〃 佐藤 健太郎 〃 〃 加藤 和恵(6日目) 〃 高橋 利行 〃
7日目 10月27日 (金)	9:30～ 16:30 (6H)	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践	弘前大学医学部附属病院 総合患者支援センター 認定社会福祉士(医療分野) 袴田 光樹
8日目 11月3日 (金)	9:30～ 16:30 (6H)	地域援助技術	日本社会事業大学社会福祉学部福祉計画学科 教授 菱沼 幹男
9日目～11日目 11月7日 (火)～11月9日(木)	9:00～ 18:00 (8H)	個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開	ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲 すこやか横手居宅介護支援センター 管理者 塚本 信太郎

表5 主任介護支援専門員更新研修

(敬称略)

		時間	科目	講師
1 目 目	9/5 (火)	10:00～ 15:00	介護保険制度及び地 域包括ケアシステム の今後の展開	大館市社会福祉事業団 法人本部事務局 主幹 伊藤 政利
2 目 目	9/6 (水)	9:30～ 16:30	リハビリテーション 及び福祉用具の活用 に関する事例	老人保健施設なごみのさと 在宅事業部 課長 永富 慎之 JA おばこケアプランセンター 係長 伊藤 弘幸 (副担当)
3 目 目	9/7 (木)	9:30～ 16:30	看取り等における看 護サービスに関する 事例	秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 秋田県介護支援専門員協会 主任介護支援専門員 小笠原 深幸 (副担当)
4 目 目	9/8 (金)	9:30～ 16:30	認知症に関する事例	特別養護老人ホームすこやか横手 高齢者支援課長 小林 悠希 りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子 (副担当)
5 目 目	9/26 (火)	9:30～ 16:30	入退院時等における 医療との連携に関す る事例	居宅介護支援事業所おおだてハチ公 所長 佐藤 菖子 企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一 (副担当)
6 目 目	9/27 (水)	9:30～ 16:30	家族への支援の視点 が必要な事例	居宅介護支援事業所おおだてハチ公 所長 佐藤 菖子 JA 秋田おばこケアプランセンター 係長 伊藤 弘幸 (副担当)
7 目 目	9/28 (木)	9:30～ 16:30	社会資源の活用に向 けた関係機関との連 携に関する事例	特別養護老人ホームすこやか横手 高齢者支援課長 小林 悠希 りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子 (副担当)
8 目 目	9/29 (金)	9:30～ 16:30	状態に応じた多様な サービス(地域密着型 サービス、施設サー ビス等)の活用に関す る事例	ここから居宅介護支援事業所 管理者 関谷 重昭 すこやか横手居宅介護支援センター 管理者 塚本 信太郎 (副担当)